平成 24 年 11 月 8 日

各位

会社名　株式会社セルシード
代表者氏名　代表取締役社長　長谷川　幸雄
（コード番号：7776）
本店所在地　東京都新宿区若松町 33-8
問合せ先　取締役最高財務責任者管理部門長　細野　恭史
電話番号　03-5286-6231

角膜上皮細胞あるいは上皮幹細胞からなる移植用「角膜再生上皮シート」に関する韓国特許についてのお知らせ

細胞シート工学による角膜組織再生（「角膜再生上皮シート」を利用した角膜上皮疾患治療技術）に関する下記特許が、この度韓国で成立する見込みとなりましたのでお知らせいたします。

特許出願番号：2011-7006993 号

発明の名称：前眼部関連細胞シート、３次元構造体、及びそれらの製造法

登録国：韓国

当社は、東京女子医科大学の岡野光夫教授（当社取締役）が考案した温度応答性細胞培養器材を活用した細胞シート工学を駆使して様々な組織及び臓器を再生する「細胞シート再生医療」の事業化に取り組んでおります。細胞シート工学は日本発の革新的な再生医療プラットフォーム技術であり、この技術を用いて作製される「細胞シート」は、患者さまご本人の細胞を用いることから免疫拒絶反応が起きる心配がない、接着たんぱく質を失わずに保持しているため移植時に縫合なしで患部に生着する、幹細胞を多く含んでいたり組織再生を促す成分を分泌したりすることなどから効率良くかつ継続的に患部組織の再生を促進すると考えられるなど、再生医療に有用な多くの特長を有しています。

従来の技術では治療困難であった角膜の代表的な疾患として、角膜上皮細胞へ分化する幹細胞が消失してしまう角膜上皮幹細胞疲弊症という疾患があります。その発症原因としては、遺伝的なもの、熱、化学的腐食等々があげられますが、根本的に治療するためには消失してしまった幹細胞を角膜上皮に供給する必要があると考えられています。一方、ドナー角膜移植で使用される移植用角膜には幹細胞がほとんど含まれていないことから、角膜上皮幹細胞疲弊症は角膜移植でも根治できない難治性疾患とされてきました。

今般特許が成立する見込みの「角膜上皮細胞あるいは上皮幹細胞からなる移植用『角膜再生上皮シート』」は細胞シート工学を活用してこの課題を解決しようとする再生医療製品であり、その治療コンセプトは「温度応答性細胞培養器材を用いて患者さまご本人の角膜上皮細胞を培養・増殖し、回収したシート状の角膜上皮様組織（「角膜再生上皮シート」）を角膜上皮幹細胞疲弊症などの角膜上皮疾患の治療に用いる」というものです。

当社は口腔粘膜細胞からなる角膜再生上皮シートに関する薬事承認申請を昨年欧州医薬品庁に提出しており、現在同庁がその薬事審査を行っているところです。今回の特許で示される細胞シートはこれとは異なる角膜上皮細胞あるいは上皮幹細胞から作製されたものですが、使用する細

胞の種類を多様化させることは今後の事業展開において重要な意味合いを持つものと考えております。また、今回の特許成立は角膜再生上皮シート技術の革新性を示すばかりでなく角膜再生上皮シート技術の多様性を示す証左の 1 つと捉えております。

なお、本件が平成 24 年 12 月期業績に与える影響は軽微であると考えております。

以　上